

虹色の旅へ。  
RAINBOW TRIP AROUND SHIGA BIWAKO  
滋賀・びわ湖

滋賀県観光  
キャンペーン  
2018  
7/15(日) → 12/24(日)



# 7月15日からスタート！滋賀県観光キャンペーン “虹色の旅へ。滋賀・びわ湖”

滋賀は、雄大な自然や貴重な文化財をはじめ、たくさんの魅力であふれています。その魅力を全国に向けて発信するため、観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」を展開します。

県では滋賀の観光を盛り上げて、滋賀を訪れてくれる人を増やし、地域を活性化していくため、県内の市町、観光団体、観光事業者、経済団体、交通事業者などと連携して観光キャンペーンを展開します。

滋賀の魅力は7色のカテゴリー（歴史や食、遊びなど）に分け、虹色のように色とりどりの魅力に出会える旅を提案します。

滋賀ふるさと観光大使の西川貴教さんをキャンペーンのナビゲーターにお迎えし、滋賀県の魅力を全国に向けて発信中です。

皆さんには「虹色の旅」を機会に、身近にある地域の宝を体感して滋賀の魅力を再発見してください。そして、皆さんからも、滋賀の魅力を発信してください。

また、全国からの観光客をおもてなしの心で迎え入れられるよう、ご協力をお願いします。

## 観光キャンペーンのねらい

リピーターを増やす

観光地「滋賀」のおもてなし環境づくり

地域の人との交流をはかり、来訪者の満足度アップ

「滋賀ならではの」ツーリズムで観光客を増やし、滋賀をめぐる旅へつなげる

300を超える！  
多彩な地域観光プログラム  
“7色の魅力に出会える旅”

観光パスポートやスタンプラリーなどで地域を楽しくめぐってもらう

滋賀に来てもらう

観光地「滋賀」の知名度アップへ！

全国へ向けた  
広報・プロモーション

来訪につなげるオープニング  
イベント・特別企画

遊



サイクリングやウォータースポーツ、山々でのアクティビティなど、琵琶湖とその周辺の大自然で思い切り遊ぶ旅！ 約60プログラム

湖東地域を巡るサイクルガイドツアー（7月、9月、11月の休日、ツアー3回実施）

夏のSUPでぷかぷか体験&近江牛パーベキュー（7/1～9/30 水、木、金のみ開催）

食



「健康長寿 しが」を支える豊かな食文化。母なる琵琶湖と肥沃な大地の恵みを味わい尽くす旅。 約45プログラム

高原の夏味！ブルーベリー収穫とパイづくり体験（7/6～8/6 金、土、日、月のみ開催）

琵琶湖八珍と東近江の6酒蔵の地酒を楽しむ（9/9、10/14）

歴



織田信長をはじめとする名だたる武将たちの足跡をたどり、人々の祈りの心を伝える社寺を訪ねる旅。 約85プログラム

浅井長政ゆかりの小谷城跡を歩き、戦国の歴史を体感！小谷城シャトルバス（7/21～11/30）

33年に一度の大開帳 樺野寺十一面観世音菩薩（10/6～12/9）



**開催** 9月22日(土) ~ 24日(月・休)

**会場** 草津市烏丸半島芝生広場  
<http://inazumarock.com/>

西川貴教さんが琵琶湖の環境保全と地域振興を掲げて立ち上げた、西日本最大級の大型野外音楽イベント。今年は記念すべき10回目で3日間の開催が決定! 無料エリアには、滋賀の魅力体験できる観光キャンペーンブースもあります!

**<先行予約チケットの発売>**

西川さんから、県民の皆さんのために先行予約(各日、1,000枚)が用意されています。一般販売より先にチケットを購入できますので、ぜひご利用ください。(お一人様4枚まで)

- ・受付期間: 7月1日(日) 10時~8月16日(木) 18時
- ・受付URL:

<https://l-tike.com/st1/inz-sp1/>

- ・受付電話番号: 0570-000-028
- ・入金期限: 予約日含め3日目の21時まで
- ・チケット問合せ:

キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888



**オープニングイベント開催!**

**開催** 7月15日(日)・16日(月・祝) **会場** 米原駅東口

キャンペーンのスタートに合わせ、スペシャルゲストによるトークステージや滋賀の魅力体験できるブース、魅力的な食の店舗が大集合!

**7月15日(日)** JR米原駅発

**SL北びわこ号D51デビュー**  
 1995年から湖北路を走る「SL北びわこ号」。7月15日(日)には、D51形200号機“デゴイチ”によるけん引がスタートします。



**7月16日(月・祝)** 近江鉄道米原駅発

**『虹色の旅へ。滋賀・びわ湖ラッピング列車』運行スタート**

西川貴教さんが登場。キャンペーン期間だけしか見られない、特別なデザインのラッピング列車が走ります!



キャンペーンナビゲーター  
**西川 貴教さん**

**最新情報はWEBサイトをチェック!**

滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」の公式サイトで、新着情報やおすすめ情報を随時更新しています。また、観光協会、観光案内所や道の駅などでパンフレットの配布をしています。



虹色の旅へ

検索

**300を超えるプログラム**

このキャンペーンでは、県内の全市町において300を超える観光プログラムを用意。それぞれの地域が持つ魅力的な素材と季節感、さらに「健康しが」を支える滋賀ならではの暮らしや食を活かして、滋賀を広くPRします。

美

買

観

癒



美術館や博物館で、芸術祭で、絶景スポットで。五感を全開にして滋賀の美とときめく旅。 **約20プログラム**

日本一のびわ湖の絶景をひとりじめ。びわ湖テラス

現代美術の国際芸術祭 BIWAKO ビエンナーレ2018 (9/15 ~ 11/11)

伝統の技が生み出す工芸品、写真に撮りたくなるかわいいものやおいしいもの。お買い物を楽しむ旅。 **約25プログラム**

愛荘町でしか買えない伝統工芸品  
 愛知川びん細工手まり

実際にキップとして利用できますよ  
 信楽高原鐵道干支切符(11/15 ~)

琵琶湖クルージングやレトロなローカル鉄道、映画のロケ地めぐりなど、滋賀でしか出会えないワクワク旅。 **約60プログラム**

かるたの聖地・近江神宮でロケ地巡り  
 和装体験&かるた体験(8/4、9/17・22)

宿場町の「歴史」と「今」にふれる旅、江戸時代ヘタムスリッパ! 衣装体験で街道文化を満喫する旅

心が澄みわたる絶景ろい、のんびりくつろぎの癒しを体感する旅。

湖面に沈む夕日を感じる  
 ルーズ&キャンドルロ

【日本遺産 大本山永源寺】フォトジェニックな女

2018 年 7 月 27 日 ( 金 )

13:30 ~ 17:00

会場

草津市立市民交流プラザ 大会議室  
(JR南草津駅「東口」すぐ FeriE 南草津 5 階)

定員

60 名 先着予約制  
お申込み方法は裏面をご覧ください

参加費

一般 1,000 円

滋賀 GPN 会員 500 円

安心して暮らせる世界を実現するために、ESG 投資や SDGs が普及する中、2017 年には滋賀県も SDGs 宣言を行い、グローバルな潮流が地域にも波及してきました。本研究会は、環境社会を重視する資本主義の変化から今後求められる生物多様性との関わりを捉え直すと共に、SDGs の理念を体現する地域でのなりわいに焦点を当て、本セミナーを開催いたします。

地域の中小企業に積極的に投資を行う鎌倉投信の新井氏をお招きし、これからのお金の流れと企業評価について講演を頂き、滋賀県で自然の恵みの活用と保全を両立させた元気な事業者の取り組み事例を合わせて、企業・地域・自然が共生する持続可能な社会づくりの視点と具体的なアクションを考えます。

基調講演

「これからのお金の流れと  
企業評価の視点」

鎌倉投信株式会社 創業者 / 取締役 新井 和宏 氏



これからの  
お金の流れと  
企業の  
持続可能性  
について

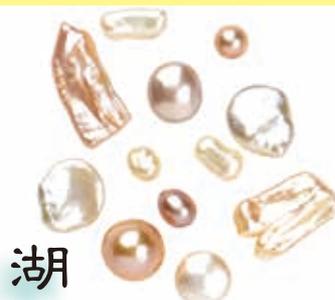
生物多様性の視点から考える



木



花



湖



土



- 主催 -  
滋賀グリーン購入ネットワーク 生物多様性と環境・CSR 研究会

- 後援 -  
草津市



## 基調講演

あらい かずひろ  
**新井 和宏 氏**

鎌倉投信株式会社  
創業者 / 取締役資産運用部長



東京理科大学工学部卒。1992年住友信託銀行(現・三井住友信託銀行)入社、2000年パークレイズ・グローバル・インベスターズ入社。公的年金などを中心に、株式、為替、資産配分等、多岐にわたる運用業務に従事、ファンドマネージャーとして実績を積む。2007～2008年、大病とリーマン・ショックをきっかけに、それまで信奉してきた金融工学、数式に則った投資、金融市場のあり方に疑問を持つようになる。2008年11月、志を同じくする仲間4人で、鎌倉投信株式会社を創業。2013年には格付投資情報センターで最優秀ファンド賞(投資信託国内株式部門)を獲得。人気・実績を兼ね備える投資信託へと成長している。特定非営利活動法人いい会社をふやしましょう理事。

## 事例報告

みやわき よしなお  
**宮脇 由直 氏**

日産陶業株式会社 代表



第2回買うエコ大賞で「大賞」を受賞した「電気のない陶器の加湿器」を開発。信楽焼を通じ、いかに社会に貢献出来るか?大きく変化する時代にどう対応して企業が生き残れるか?時代に必要な信楽焼はどうあるべきか?いかに消費者との意思疎通を計れるか?また、新製品の開発にどう対応するか?。常に時代に、世間に問いかけてつ、努力と技で頑張り続けている。

いのうえ しんや  
**井上 慎也 氏**

クミノ工房 代表



滋賀県立大学で森林生態学を学ぶ。10年間SEの仕事に従事した後、テクノカレッジ米原木造建築課在学中に「きぐみのつみき KUMINO(クミノ)」を考案。第2回買うエコ大賞で「優秀賞」を受賞、2017年にグッド・トイ(認定NPO法人芸術と遊び創造協会主催)に選定、東近江市のウッドスタート支援事業では保育所等への贈呈品に選定された。

すぎやま ともこ  
**杉山 知子 氏**

神保真珠商店 店長



プラントエンジニアリング会社でCAD設計として18年勤務。2014年に会社を退職し、家業の神保真珠商店を継ぐと同時に実店舗を地元大津に構える。現在は店舗を拠点に県内外で販売会やイベントなども行う他、「びわ湖真珠」の認知度を上げるための活動にも注力している。

まえかわ しんじ  
**前川 真司 氏**

株式会社みんなの奥永源寺 代表



滋賀県立高校の講師を3年勤め、2014年4月から「東近江市 地域おこし協力隊」に就任、で農業と農村の可能性を活かした地域活性化事業に挑戦。2017年4月からは「株式会社みんなの奥永源寺」の代表取締役就任、現在も地域活性化事業に邁進中。

## プログラム

- 13:30 開会挨拶・趣旨説明  
嶋崎 良伸 氏  
(生物多様性と環境・CSR研究会 / 株式会社滋賀銀行)
- 13:40 基調講演  
「これからの金の流れと企業評価の視点」  
新井 和宏 氏 (鎌倉投信株式会社 創業者 / 取締役)
- 14:40 事例報告  
宮脇 由直 氏 (日産陶業株式会社)  
井上 慎也 氏 (クミノ工房)  
杉山 知子 氏 (神保真珠商店)  
前川 真司 氏 (株式会社みんなの奥永源寺)
- 15:40 休憩 (名刺交換会)
- 15:55 フロアトーク：総合討論 & 質疑応答  
「これからの金の流れと企業の持続可能性について ～生物多様性の視点から考える～」  
登壇者：新井氏、宮脇氏、井上氏、杉山氏、前川氏  
進行役：千々岩 哲 (生物多様性と環境・CSR研究会 / 株式会社地域環境計画)
- 16:55 閉会挨拶  
横地 富重  
(生物多様性と環境・CSR研究会 / 株式会社ダイフク)
- 17:00 閉会

※プログラム終了後に懇親会(参加費4,000円程度)を予定しております。申込みの際に事務局までお問い合わせください。

## 会場アクセス

FeriE(フェリエ)南草津5階  
**草津市立市民交流プラザ 大会議室**  
〒525-0059 滋賀県草津市野路1-15-5



電車：JR 琵琶湖線 南草津駅直結(徒歩3分)  
お車：▼京都・三重方面からお越しの場合…新名神高速道路「草津田上IC」下車 ▼宇治方面からお越しの場合…京滋「瀬田東IC」下車

## お問い合わせ・お申込み

【お申込み方法】  
所属・お名前・連絡先 TEL・mail をお書きの上、メールまたは FAX にて事務局までお送りください。

滋賀グリーン購入ネットワーク事務局 担当：辻(つじ)  
〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階  
【電話】077-510-3585 【FAX】077-510-3586  
【メール】sgpn@oregano.ocn.ne.jp



## 【参加申込み FAX 077-510-3586】

参加者全員の氏名

ご所属

連絡先 TEL

mail

懇親会：参加( )人・不参加

平成30年度 JAグループ滋賀

# 農業経営者セミナー

平成30年 **8月4日(土)**

**参加費無料!**

定員**300名**

午後**1時30分**から**5時まで**  
(受付開始 午後**1時**)

**彦根ビューホテル**

滋賀県彦根市松原町綱代口1435-91 TEL.0749-26-1111

(対象者) 農業法人(集落営農型・個別経営型) <法人化を目指す集落営農組織など、今後の地域の中心となる多数の農業者の皆様のご参加をお待ちしています。>

参加者には  
**粗品進呈!**

## 情報提供

テーマ/近江米生産・流通ビジョンについて  
~「マーケットイン」を強く意識した米づくりへの転換~

講師:滋賀県農政水産部 農業経営課 参事

**鋒山 和幸氏**

## 講演 第1部

テーマ/こうすればうまくいく!!  
事業承継の心得と留意点

講師:株式会社後継者の学校 代表取締役  
一般社団法人 軍師アカデミー 理事  
株式会社BG 取締役

**大川原 基剛氏**

## 講演 第2部

テーマ/農業IT革命  
~日本の農業を魅力あるものにするIT活用とは~

講師:日本農業情報システム協会理事長  
慶應義塾大学SFC研究所研究員

**渡邊 智之氏**

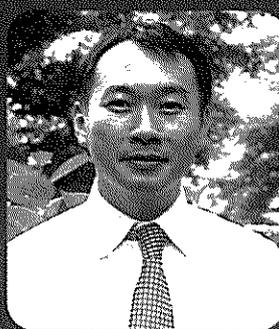


株式会社後継者の学校 代表取締役  
一般社団法人 軍師アカデミー 理事  
株式会社BG 取締役

**大川原 基剛氏**

(おかわらのりたか)

[略歴] 広告会社時代、リーマンショックの影響で混乱した会社を経営者と二人三脚で立て直した後、34歳で独立し経営者を支援するコンサルティング会社株式会社BGを設立。その後、後継者と事業承継を支援するために株式会社後継者の学校を設立し、現在は、25名の仲間と共に後継者育成と事業承継支援のトップランナーの一人として活躍している。一次産業では、農業と漁業の分野で事業承継の支援や講演活動を全国で行っている。



日本農業情報システム協会理事長  
慶應義塾大学SFC研究所研究員

**渡邊 智之氏**

(わたなべともゆき)

[略歴] 富士通株式会社にて宅内交換機、宅内電話機の開発に従事、その後事業企画部門へ異動し、医療・動物医療・農業に関するイノベーション創造に関与、マネージングコンサルタント。Interop Tokyo 2008にて出展した「電子カードホルダーによる情報提供ソリューション」にてBest of Show Awardグランプリ受賞。2012年より、農林水産省において農林水産現場の情報化推進担当。2014年日本農業情報システム協会を設立し、理事長に就任。

(主催) 滋賀県内農業協同組合・滋賀県農業協同組合中央会・滋賀県信用農業協同組合連合会  
全国農業協同組合連合会滋賀県本部・全国共済農業協同組合連合会滋賀県本部  
滋賀県厚生農業協同組合連合会

(後援) 農林中央金庫



## 第3回「買うエコ大賞」募集要項

一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク（滋賀 GPN）は、グリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減活動を促進することを目的に、第3回「買うエコ大賞」を実施します。  
「買うエコ大賞」は2014年度に第1回を実施し、以後2年毎に開催しています。

【主催】一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク（滋賀 GPN） 【後援】滋賀県  
【協賛】株式会社滋賀銀行、株式会社平和堂、滋賀県生活協同組合連合会 他

（目的）

- 1 環境に配慮した滋賀県産の商品（原材料が滋賀県産のものも含む）またはサービスを幅広く募集し、審査会で選ばれた商品またはサービスを、ウェブサイトや展示会等を活用して紹介し、一般投票で大きな支持を得られた商品・サービスを表彰すること、また、グリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減に関する優れた取り組みを行った事業者、民間団体を表彰すること、およびそれらの受賞事例を紹介することにより、地球環境問題等への関心を高め、グリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減活動を促進することを目的とします。

（応募対象）

- 2 次の2部門について募集を行います。自薦、他薦は問いません。
  - (1) 商品・サービス部門  
滋賀県産の「環境配慮型商品」（原材料が滋賀県産のものも含む）または滋賀県内で提供されている「環境配慮型サービス」で、グリーン購入ネットワーク制定の「グリーン購入基本原則『2製品・サービスのライフサイクルの考慮』」8項目の内、2項目以上に合致する商品またはサービス
  - (2) 活動部門  
グリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減に関する優れた取り組みを行った事業者、民間団体

（賞の種類）

- 3 次の各賞について、該当商品または該当者を表彰します。
  - (1) 商品・サービス部門

大賞	一般市民から最も支持された、特に優れた環境配慮型商品・サービス
滋賀県知事賞	滋賀県の環境ブランド力向上に特に寄与すると考えられる、特に優れた環境配慮型商品・サービス
滋賀GPN会長賞	グリーン購入の普及に特に寄与すると考えられる、特に優れた環境配慮型商品・サービス
優秀賞	優れた環境配慮型商品・サービス

(2) 活動部門

環境活動表彰	グリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減に関する優れた取り組みを行った事業者、民間団体
--------	--

（審査方法）

- 4 滋賀 GPN が設置する審査委員会における審査と、一般投票による審査を次の通り行います。
  - (1) 商品・サービス部門

予備審査	応募書類により予備審査を行います。
第1次審査	プレゼンテーションにより審査を行い、6商品をノミネートします。
一般投票	ノミネートされた6商品について、ウェブサイトや展示会会場等を使って約4ヶ月間PRすると共に、一般投票を実施します。
最終審査	一般投票の結果を受け、審査委員会にて各賞を選出します。

(2) 活動部門

予備審査	応募書類により予備審査を行います。
最終審査	審査により表彰対象者を決定します。

(評価基準)

5 審査委員会における審査の評価基準は次の通りです。

(1) 商品・サービス部門 ※「グリーン購入基本原則」については別紙をご参照ください。

①環境配慮性	・「グリーン購入基本原則『2 製品・サービスのライフサイクルの考慮』」8項目の内、2項目以上に合致すること ・上記について申請書類上でわかりやすく説明が記されていること
②地域性	・滋賀県産の商品であるか、または滋賀県産の原材料が使われていること ・滋賀県に根付いたストーリー性があること
③独創性	・他の商品にない独創的なアイデアが盛り込まれていること ・使用目的に沿った機能やアイデアが優れていること
④共感性	・①～③に関する情報が、消費者にわかりやすく示されていること ・消費者の支持を得られること

(2) 活動部門

①自らの創意工夫	・応募者自らの創意・工夫や、課題解決に向けた努力などが認められること
②成果・効果	・取り組みによる成果・効果が認められること
③継続性・発展性	・一時的な取り組みではなく、日常的、継続的に実施されていること ・今後の発展的な取り組みが期待できること
④汎用性	・他の県民や事業者等の参考となる取り組みであること

(応募方法および締切)

6 次の①②を電子メールまたは郵送にて、2018年8月10日(金)までに提出してください。

①必要事項を記入した応募用紙(様式第1号または第2号)およびその電子データ

※応募用紙は右記ホームページからダウンロードできます。<http://www.shigagpn.gr.jp>

②商品・サービスまたは活動内容の分かる写真の電子データ

【提出先】一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク事務局

〒520-0807 大津市松本1丁目2-1 大津合同庁舎6階

TEL: 077-510-3585 FAX: 077-510-3586 Email: [sgpn@oregano.ocn.ne.jp](mailto:sgpn@oregano.ocn.ne.jp)

(その他)

7 予備審査通過者は、9月5日に行う「第1次審査会」のプレゼンテーション大会(一般公開)にご参加いただきますので、ご予約をお願いいたします。

8 商品・サービス部門における受賞者は、受賞した商品・サービスに、第3回「買うエコ大賞」受賞を示すマーク(「買うエコ大賞」ロゴマーク)を表示して活用することができます。

また、大賞受賞者は、滋賀銀行主催「サタデー起業塾」を1年間無料で受講いただけます。

■第3回「買うエコ大賞」スケジュール(予定)

2018年6月～8月10日 募集期間

2018年8月下旬 予備審査

2018年9月5日(水) 第1次審査会(プレゼンテーション大会)・応募者交流会

2018年10月～2019年1月31日 一般投票期間

2018年12月8日(土) 「三方よしエコフェア2018」(大津)にてノミネート商品展示  
(日程調整中) (平和堂店舗でノミネート商品展示(またはパネル展示))

2019年3月下旬 最終審査会・審査結果発表

2019年5月下旬 表彰式(滋賀GPN20周年記念シンポジウムと同日開催)

## 別紙

# グリーン購入基本原則

### ●1. 「必要性の考慮」

購入する前に必要性を十分に考える

### ●2. 「製品・サービスのライフサイクルの考慮」

資源採取から廃棄までの製品ライフサイクルにおける多様な環境負荷を考慮して購入する

#### 2-1 環境汚染物質等の削減

環境や人の健康に影響を与えるような物質の使用や排出が削減されていること

#### 2-2 省資源・省エネルギー

資源やエネルギーの消費が少ないこと

#### 2-3 天然資源の持続可能な利用

再生可能な天然資源は持続可能に利用していること

#### 2-4 長期使用性

長期間の使用ができること

#### 2-5 再使用可能性

再使用が可能であること

#### 2-6 リサイクル可能性

リサイクルが可能であること

#### 2-7 再生材料等の利用

再生材料や再使用部品を用いていること

#### 2-8 処理・処分の容易性

廃棄されるときに適正な処理・処分の容易なこと

### ●3. 「事業者取り組みの考慮」

環境負荷の低減に努める事業者から製品やサービスを優先して購入する

#### 3-1 環境マネジメントシステムの導入

組織的に環境改善に取り組むしくみがあること

#### 3-2 環境への取り組み内容

省資源、省エネルギー、化学物質等の管理・削減、グリーン購入、廃棄物の削減などに取り組んでいること

#### 3-3 環境情報の公開

環境情報を積極的に公開していること

### ●4. 「環境情報の入手・活用」

製品・サービスや事業者に関する環境情報を積極的に入手・活用して購入する

1996年11月7日制定  
2001年6月12日改定  
グリーン購入ネットワーク